

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部の基本理念である「子ども理解」の明示方法を検証し、その改善を図る。	→「学部ホームページにおける学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「履修心得における学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「学部ホームページの内容を検討する委員会の有無と開催頻度および検討の進捗状況」	B	B	B	A	A
2. 学部の教育目標と教育課程の整合性を検証し、その問題点を抽出し、その改善を図る。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討の進捗状況」	B	A	A	A	A
3. 教育課程の編成・実施方針の学生への周知方法を検証する。	→「履修心得、実習の手引き等、学生向けパンフレットの有無とその継続的改善の有無」「新入生および在学生に対する履修指導、オリエンテーションの開催の有無と頻度」	B	B	A	A	A
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」					
	→					
	→					

☆

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教育課程の再編により2学科が1学科3コースになったことに伴い、教育学部は学部ホームページ、履修心得に学部の理念・目的・教育目標を示すと共に、学部全体の理念が学科・コースの教育目的・目標とどのように関係しているかについて、卒業要件と共に、学科・コース別に示している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 教育課程再編に伴う1学科3コースのスタートの年度であったが、学部ホームページ及び履修心得で改めて学部の理念を示し、また新入生に対する各種オリエンテーションやあらゆる機会を通じて、学部がめざす「子ども理解」の重要性を説いたことにより、前年度同様に学部の基本理念が浸透してきている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 次年度以降も学部の基本理念をさらに浸透させるための方策として、学部ホームページの内容を検討する委員会を定期的 に開催していく。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標2	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2013年度より学部教務委員会を立ち上げ、既存の実習委員会、各実習科目担当者会のそれぞれを月1回開催し、学部の教育目標と教育課程の整合性を視野に入れながら課題を明確にし、それぞれについて解決に向けて取り組んだ。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 各委員会ごとに年度当初に設定した課題を年度終わりに振り返り、達成の有無を点検したことにより、残された課題も同時に明確になるなど効果があった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 積み残された課題の早期の達成をめざすと共に、今後、更に学部教育目標と教育課程の整合性を検証していく必要がある。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教育課程の編成と実施方針を学生に周知するため、学部ホームページ、履修心得、実習の手引き、学生向けのパンフレット等を用いて履修指導をおこなっている。新入生には、履修に関する学部全体のオリエンテーションに加え、コースごとにオリエンテーションを行っている。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 学生サイドから見れば、履修に関する情報提供の機会が何度もあったことにより、大きな混乱もなく履修登録に臨めている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 月1回開催の学部教務委員会に加えて実習委員会、実習ごとの担当者会で、その都度、課題改善と情報の共有化を図るよう努める。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
備考			☆